

平成 29 年度第 3 回防災・減災害講座アンケート結果

(アンケート回収：41 枚)

1. 今回の講座、「とても参考になった」34名（ふつう5名、参考にならなかった1名）
 2. 今回の講座で印象に残ったこと。
 - ◇ 自助力（及び共助、公助）の大切さ、とっさの判断の大切さがわかりました。
 - ◇ 同じ問題意識のある方々と交流できて良かった。ファシリテータが良かった。
 - ◇ そのときの状況判断によってその後の自分の境遇が左右されるので普段から防災を考えて準備しておくことが大切だと感じました。
 - ◇ 自助力を養うためにはよく考えられた訓練方法だと思いました。クロスロードゲームは、次々出されるシリアスな設問に対して素早く判断し自分の考えを提示し仲間の意見も理解して個人やグループ（地域等）としての行動を決めるプロセスを訓練することができる役立つ「大事」な訓練方法です。
 - ◇ 皆さんが笑いながら、ゲームとしてよく工夫された設問に取り組んでいました。状況を”あいまい”にした設問は実際の状況を表しているのだとおもいました。
 - ◇ おかれた立場等の前提が変われば対応方法も変わるのことが体験できました。
 - ◇ いろいろな意見を述べるだけでは意味がない。自分の判断したポイントを押さえて述べるべきだと感じました。
 3. 防災・減災の講演会で取り上げて欲しい内容（複数回答）

首都圏直下地震(8)、熊本地震(1)、東日本大震災(2)、地震全般(6)、浸水（洪水・内水）について(6)、土砂災害について(5)、液状化現象について(3)、火災について(12)、災害避難所について(14)、トイレ関係について(13)、帰宅困難者対策について(9)、災害要援護者対策について(14)、家具転倒防止について(4)、各種ゲームについて(7)、ボランティアについて(7)、その他(噴火、女性向け防災講座)
 4. 防災・減災についての御意見（自由に記入）
 - ◇ 自分でも今回の設問のような状況を想定してシミュレーションしてみたい。
 - ◇ 近隣で防災意識を高めたいのでいろいろなノウハウを知りたい。防災について明確に理解していないので、今後のみどり一むの企画に期待したい。
 - ◇ まず自分で災害に備えたい。想像力を働かせてることが大事だと思います。
 - ◇ 年配の参加者が多かったが、各世代・地域での防災意識・行動を知りたい。
 5. 今回の講座の開催情報入手先（複数回答）

友人からの誘い(10)、チラシ（みどり一む）(12)、みどり一むからの DM 案内(5)、自治会からの案内（掲示板）(1)、タウンニュース(2)、チラシ（区役所）(4)、チラシ：JR 駅（長津田）(1)、緑区ホームページ(1)、その他：みどり一む職員・池田さん
- お住まい** 三保町(4)、寺山町(5)、白山(2)、中山(7)、長津田(4)、青砥(3)、鴨居(2)、北八朔(2)、東本郷(1)、霧が丘(1)、上山(1)、竹山(2)、新治(3)、いぶき野(1)、台村(1)、みなみの(1)
- 性別**：男性(15)、女性(10) **年齢**：20代(1)、40代(1)、50代(4)、60代(7)、70代(20)、80代以上(6)

以上